

ご挨拶

宮城県日本拳法連盟
副会長兼理事長
日本拳法大崎倶楽部
代表 高橋 宏幸

「日本拳法大崎倶楽部」の部員とご父兄の皆様と、日本拳法で繋がったことを嬉しく思います。私が、武道「日本拳法」と初めて出会ったのは、約 45 年前の「東北福祉大学空手道部・3 回生（昭和 53 年 20 歳）」の時に、空手道と違う武道を習得したいと思った時に、仲間の先輩から「日本拳法協会・師範（後の「東北連盟・日本拳法拳剛塾：塾長）」の「服部正巳師範」を紹介され、「仙台ワシントンホテル」のフロントロビーで、初顔合わせを行ないました。

その後、「東北福祉大学空手道部」の同期生 5 名で「東北福祉大学日本拳法部」を立ち上げ、青葉山公園にあった「宮城県スポーツセンター・武道場」において、「日本拳法教室」の活動を開始しました。

それから数十年経過後、仙台市で行われた「日本拳法大会 30 周年記念パーティー」で、大崎市古川に在住する「三野宮信弘師範」から、古川で道場を開きたい意向のはがきが届き、地元の自衛官である「高橋幸治師範代」を紹介され、顔合わせをしてから 3 名で、平成 20 年 11 月 14 日に、「日本拳法大崎倶楽部・ふるかわ道場」を、「古川東部コミュニティセンター・大ホール」に開設致しました。

道場の開設当初は、稽古生が中々集まらず、古川管内の小学校と中学校に道場の案内書を配布しました。それでも、人が集まらず、高橋師範代の友人家族の「兵藤慎太郎・健人兄弟」が、最初の入部者でありました。暫くしてから、「高橋耕太指導員」や「佐々木快斗・駿斗兄弟」の入部が続きました。

あれから、我が道場も 15 年目を迎え、部員も累計 48 名に達しました。これも、ご父兄皆様のご協力があったのであります。特に、子供達の送迎や、色々な行事の都度ご協力を頂いたことに、感謝申し上げます。これからも、健康に留意され子供たちの成長育成にご協力をお願い致します。

「日本拳法大崎倶楽部」も本年を以って開設 15 周年を迎えます。令和 5 年 4 月 1 日を持ちまして、「日本拳法大崎倶楽部（古川日本拳法スポーツ少年団）・代表」の役職を、「三野宮信弘副代表兼師範」に交代することに致しました。「大崎市教育委員会・社会教育登録団体」の登録申請も、令和 5 年 2 月 17 日（金）に「大崎市教育委員会古川支局（あすも）」にて手続きを完了しております。今後は「日本拳法大崎倶楽部・会長」として、後見に尽力して参ります。

この度、令和 5 年 3 月 15 日付で「大崎地区スポーツ少年団連絡協議会」より通達があり、「日本拳法大崎倶楽部」が団体表彰され、「代表：高橋宏幸」が個人表彰されることになりました。表彰式は、令和 5 年 4 月 18 日（火）午後 7 時から「大崎市古川総合体育館・第 3 会議室」で開催されます。

これからも、「新制・日本拳法大崎倶楽部」の活動に、部員及びご父兄皆様の多大なるご支援ご協力をお願い致します。